

1 事業の成果

本来事業では宮坂町の家プロジェクトを進め、町家再生修理を終えた。トラスト事務所は市民、地域交流拠点として積極的に利活用されるとともに、民間まちづくり団体 2 社ⁱが入居して活動した。また町内および大学のゼミとの協働で構成されている e コミュニティ研究所が地域の生活環境調査の研究の拠点と駄菓子屋を継続した。またトワイライトホーム（子育て支援）の受け入れなど、まちづくりの仕組みを支援した。

町家体験施設「御坂の家」は旅館業法に適合する施設として順調に運営している。「備中町並みネットワーク」に参加し、備中地域の町並み保全団体との情報・人的交流や視察見学会などを通して活動が進み、「備中町並みゼミ 2016 浅口大会」を開催し、第 3 回「備中 no 町家 de クラス」事業では町家の生活文化の体験事業の事務局を担った。

設立以来 10 年間の活動で、倉敷および備中地域の町家再生利活用の公益的活動など総合的なまちづくりが評価され、福武文化奨励賞を受賞し、今後の活動が大きく期待された一年であった。

1) 組織の認知と組織への参加促進

- ・ホームページ、ブログ、facebook、くらしき手帖など情報発信・メールマガジン・メディアでの発信
- ・フォーラム、シンポジュームのパネリスト参加、各種まちづくり委員会委員への参加

2) まちづくり活動の企画、協力、連携、提言など

- ・備中町並みネットワーク主催の「備中 no 町家 de クラス」企画構成、事務局担当
- ・「備中町並みゼミ 2016 浅口大会」参加
- ・まち歩きなどの企画・各種フォーラム、講演会、協議会に参加し、発表
- ・岡山県立水島工業高校と連携で町家改修整備事業を進めた
- ・川崎医療福祉大学ゼミ、町内会と連携でコミュニティの実態調査

3) 地域資産の活用

- ・鶴形 2 丁目の町家改修（宮坂町の家プロジェクト）
- ・再生町家を事務所として活用・交流事業 倉敷市東町 1-2-1 名倉家
- ・「御坂の家」事業継続
- ・COC 事業「まちなか研究室東町」支援
- ・トワイライトホーム支援

4) 各種団体の視察・取材の受け入れ（全国のまちづくり団体、大学、行政など）

5) 各種団体への参加

- ・備中町並みネットワーク
- ・中心市街地活性化協議会・岡山 NPO センター
- ・倉敷市東学区コミュニティ協議会まちづくり特別部会
- ・倉敷東学区社会福祉協議会

- ・全国まち並み保存連盟。9月9～11日：全国町並みゼミ大内・前沢大会参加
 - ・作事組全国協議会総会 2016in 姫路
 - ・高梁川流域学校
 - ・G7倉敷教育大臣会合実行員会
 - ・歴史文化基本構想ワーキンググループ参加
 - ・その他
- 6) 事務局・毎週土曜日開所（10：00～13：00）
- * 総会：5月21日（土）10：00～12：00
場所：倉敷市民会館第3会議室
 - * 理事会：平成28年4月1日、5月7日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、平成29年1月6日、2月3日、3月3日
- 利活用
- ・倉敷町家トラスト事務所の利活用（毎月第一金曜日定例理事会、東町町内会役員会、東町町家婦人の会、倉敷友の会、マンマカフェ、千屋っ子朝市、駄菓子屋、倉敷未来機構、倉敷伝建地区をまもりそだてる会、高梁川プレゼンターレ、岡山県民藝協会、みんつく、東学区社会福祉協議会、各種NPO、市民団体の会議、勉強会、展示会、視察受け入れ）
- 会員数（平成29年3月31日現在：214人、32社）
（内訳：正会員52人、法人賛助会員：32社、賛助会員77人、準会員95人、）
- 御坂の家運営
- ・利用日数 126日（滞在116日、貸室3日、視察見学利用7日）
 - ・利用人数 250名以上（滞在188名、その他見学70名以上）
- 委員・くらしき町家賞選考委員（永井理事）
- ・福武教育文化振興財団文化活動助成審査員（中村代表理事）
 - ・全国町並み保存連盟常任理事（代表理事）
 - ・備中町並みネットワーク会長（代表理事）事務局長（副代表理事）
 - ・倉敷東社会福祉協議会事務局長（中村代表理事）
 - ・倉敷市歴史文化基本構想ワーキンググループ（代表理事）
 - ・など
- 取材、新聞雑誌掲載
- * TV：KCT、たまテレ、OHK
 - * ラジオ：FMくらしき、RSKラジオ
 - * 新聞：山陽新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、その他
 - * 雑誌他、環境と正義（日弁連）SENON、FUEKI（福武財団）など

ⁱ（一社）倉敷未来機構、（一社）高梁川プレゼンターレ、